各位

令和2年7月31日

令和元年度「金融仲介機能のベンチマークの公表について」

当金庫は、経営理念であります「縁　　あたたかく－人へ・街へ」を具現化すべく、地域経済の発展に向け、お取引先の本業支援や経営改善提案などに、日々、取り組んでおります。今般、令和元年度におけるベンチマークの実績がまとまりましたので公表いたします。

今後も積極的にベンチマークを活用し、金融仲介機能の強化を図り、お取引先のニーズや課題に応じたコンサルティング、ソリューションの提供などに取り組み、地域経済の活性化等に貢献してまいります。

「金融仲介機能のベンチマーク」とは

平成28年9月、金融庁は金融機関における金融仲介機能の発揮状況を、客観的に評価できる多様な指標（「金融仲介機能のベンチマーク」）を策定、公表いたしました。

「共通ベンチマーク」	全ての金融機関が金融仲介機能の取組みの進捗状況や課題などを客観的に評価するための指標
「選択ベンチマーク」	各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる指標
「独自ベンチマーク」	各金融機関が自己評価するうえで、相応しい指標がある場合には、独自に設定

※当金庫は「共通ベンチマーク」から2項目、「選択ベンチマーク」から5項目、「独自ベンチマーク」から6項目、計13項目を公表しています。

マスコットキャラクター「ひがぴょん」

東京東信用金庫

〔金融仲介機能のベンチマーク〕　基準日：令和2年3月31日

Ⅰ・顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

共通ベンチマーク　ライフステージ別の与信先数（先数単体ベース）、及び融資残高

（単位：社、億円）	年等	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	H31.3.31	11,102	846	1,050	7,339	681	1,186
	R2.3.31	11,084	841	1,143	7,282	661	1,157
	増加先数	**△ 18**	**△ 5**	**93**	**△ 57**	**△ 20**	**△ 29**
ライフステージ別の与信先に係る事業年度末の融資残高	H31.3.31	5,726	189	681	4,070	260	526
	R2.3.31	5,862	207	744	4,094	289	528
	増加残高	**136**	**18**	**63**	**24**	**29**	**2**

先数全体で18先減少し残高は136億円増加しています。創業期・成長期・安定期のお客さまがトータルで31先・105億円増加しています。低迷期・再生期のお客さまは49先減少し、残高では31億円増加しています。ポートフォリオは良化していると思われます。

ライフテージ

〔金融仲介機能のベンチマーク〕　基準日：令和2年3月31日

①創業期：新事業開拓を目指す取引先企業への支援

選択ベンチマーク　創業支援先数（支援内容別）

（単位:社）	年等	支援①	支援②（プロパー）	支援③（信用保証付）
創業支援先数（支援内容別） ①創業計画の策定支援 ②創業期の取引先への融資（プロパー） ③創業期の取引先への融資（信用保証付）	H31.3.31	99	55	208
	R2.3.31	119	51	213
	増加先数	**20**	**△ 4**	**5**

各自治体と連携した「ひがしん創業塾」に墨田区・足立区に続き令和元年度から江東区・江戸川区も加わり、創業計画の策定支援先は、前年より大幅に増加しました。景気の不透明感から融資先数については前年度と変わりませんが、当金庫はスタートアップ企業の支援も積極的に取り組み、夢の実現を応援しています。

創業期

〔金融仲介機能のベンチマーク〕　基準日：令和2年3月31日

②成長期・安定期：成長段階における更なる飛躍が見込まれる取引先企業等への支援

独自ベンチマーク　販路開拓支援を行った先数

（単位：社）	年等	先数
販路開拓支援を行った先数 （販路開拓相談・ビジネスマッチング）	H31.3.31	858
	R2.3.31	918
	増加先数	**60**

「ひがしんビジネスフェア2019」を令和1年11月、両国国技館にて開催しました。ビジネスマッチングの機会を提供するため、個別商談会も同時開催しました。販路開拓支援を行った先は前年を上回り918先となりました。引き続き、お客さまの事業のお手伝いをするよう努めてまいります。

成長期
安定期

〔金融仲介機能のベンチマーク〕　基準日：令和2年3月31日

②成長期・安定期：成長段階における更なる飛躍が見込まれる取引先企業等への支援

独自ベンチマーク　補助金・助成金申請支援先数

（単位：先）	年等	先数
補助金・助成金申請支援先数	H31.3.31	223
	R2.3.31	179
	増加先数	△ **44**

令和元年度は、179先の支援をいたしました。補助金・助成金申請支援については、お客さまの投資計画の実現をサポートするため今後も積極的に取り組んでいきます。

成長期
安定期

〔金融仲介機能のベンチマーク〕　基準日：令和2年3月31日

②成長期・安定期：成長段階における更なる飛躍が見込まれる取引先企業等への支援

独自ベンチマーク　大学等、外部支援機関と連携したものづくり支援先数

（単位：社）	年等	先数
大学等、外部支援機関と連携したものづくり支援先数	H31.3.31	24
	R2.3.31	20
	増加先数	△ 4

高度な専門性を必要とする技術課題については大学等と連携して支援を行います。支援先数は、例年安定して推移しています。引き続き大学や行政等との産学官金連携を積極的に推進していきます。

成長期
安定期

〔金融仲介機能のベンチマーク〕　基準日：令和2年3月31日

②成長期・安定期：成長段階における更なる飛躍が見込まれる取引先企業等への支援

独自ベンチマーク　海外展開支援先数

（単位：社）	年等	先数
海外展開支援先数	H31.3.31	79
	R2.3.31	102
	増加先数	**23**

「海外販路開拓支援事業」(シンガポール、香港、台湾、タイでのテストマーケティング、商談会の実施)が大好評でした。今後もタイ・バンコクにある「ひがしんバンコクデスク」を核として、海外展開ニーズに積極的に対応していきます。

成長期
安定期

〔金融仲介機能のベンチマーク〕　基準日：令和2年3月31日

②成長期・安定期：成長段階における更なる飛躍が見込まれる取引先企業等への支援

独自ベンチマーク　販路開拓に係る広域連携活動における連携先数

（単位：社）	年等	先数
販路開拓に係る広域連携活動における連携先数	H31.3.31	22
	R2.3.31	22
	増加先数	**0**

「ひがしんビジネスフェア」では地方の信用金庫にも出展してもらい、広域連携先との絆を深め、販路拡大に役立てています。また当金庫の年金旅行でしずおか焼津信金や大相撲観戦の旅で盛岡信金、諏訪信金と連携・交流を図りました。

成長期
安定期

〔金融仲介機能のベンチマーク〕　基準日：令和2年3月31日

②成長期・安定期：成長段階における更なる飛躍が見込まれる取引先企業等への支援

選択ベンチマーク　事業承継支援先数

（単位：社）	年等	先数
事業承継支援先数	H31.3.31	152
	R2.3.31	125
	増加先数	△ **27**

平成30年度事業承継税制の拡充により事業承継支援先数は大幅に増加しました。令和元年度もお客さまアンケートを実施しその結果を踏まえて外部支援機関と連携し、お客さまの事業承継や諸問題の解決に向けたサポートに積極的に取り組みました。

成長期
安定期

〔金融仲介機能のベンチマーク〕　基準日：令和2年3月31日

③低迷期・再生期：経営改善や事業再生・業種転換が必要な取引先企業への支援

選択ベンチマーク　事業再生支援先における実抜計画策定先数、及び、同計画策定先のうち未達成先の割合

（単位:社、%）	年等	実抜計画策定先数①	未達成先数②	②/①
事業再生支援先における実抜計画策定先数、及び、同計画策定先のうち未達成先の割合	H31.3.31	42	8	19.0%
	R2.3.31	23	8	34.7%
	増加先数・率	**△ 19**	**0**	**15.7%**

事業再生支援先の経営改善計画書策定支援及び進捗管理について、着実な対応をしています。

※実抜計画策定先
実現可能性の高い抜本的な経営改善計画書を策定している先

低迷期
再生期

〔金融仲介機能のベンチマーク〕　基準日：令和2年3月31日

③低迷期・再生期：経営改善や事業再生・業種転換が必要な取引先企業への支援

選択ベンチマーク　ＲＥＶＩＣ、中小企業再生支援協議会の利用先数

（単位：社）	年等	先数
REVIC	H31.3.31	11
	R2.3.31	0
	増加先数	△ **11**
中小企業再生支援協議会	H31.3.31	16
	R2.3.31	14
	増加先数	△ **2**

(株)地域経済活性化支援機構(REVIC)は再生支援先の業種、規模を限定しており対象案件がありませんでした。中小企業再生支援協議会の利用先数も減少していますが、信用保証協会の専門化派遣事業も利用しており、最適な連携をコーディネートし、お客さまの事業再生に全力で取り組みます。

低迷期
再生期

〔金融仲介機能のベンチマーク〕　基準日：令和2年3月31日

Ⅱ・事業性評価に向けた取組み

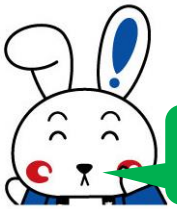
①お客様の事業内容や成長可能性を評価した融資への転換

共通ベンチマーク

金融機関が事業性評価に基づき新規融資を行った与信先数及び融資残高、及び、全与信先数及び融資残高に占める割合

（単位：社、億円、%）	年等	先数	融資残高
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高	H31.3.31	204	79
	R2.3.31	136	58
	増加先数・残高	**△ 68**	**△ 21**
上記計数の全与信先数及び当該与信先の融資残高に占める割合	H31.3.31	1.00%	1.00%
	R2.3.31	0.68%	0.75%
	増加率	**△0.32%**	**△0.25%**

事業性評価シートを活用しお客さまの課題解決策の提案を行います。お客さまの事業内容や成長可能性に対し、積極的なご融資でお応えしています。



事業性評価

〔金融仲介機能のベンチマーク〕　基準日：令和2年3月31日

②顧客ニーズに基づいたサービスの提供

選択ベンチマーク　運転資金に占める短期継続融資の割合

（単位:億円、%）	年等	運転資金残高①	短期継続融資残高②	②/①
運転資金に占める短期継続融資の割合	H31.3.31	4,781	107	2.2%
	R2.3.31	4,854	101	2.1%
	増加残高・率	**73**	**△ 6**	**△0.1%**

短期継続融資の利用によりお客さまの資金繰りを支援いたします。

※短期継続融資
経常運転資金において期日到来時に借換を行うことを前提とした融資。

〔金融仲介機能のベンチマーク〕　基準日：令和2年3月31日

②顧客ニーズに基づいたサービスの提供

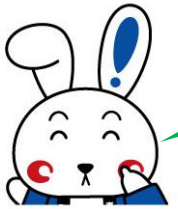
独自ベンチマーク　資金繰安定化融資の新規実行額の推移

(単位:億円、%)	年等	資金繰安定化融資残高(累計)	資金繰安定化新規実行額
資金繰安定化融資新規実行額の推移	H31.3.31	741	217
	R2.3.31	894	153
	増加残高	**153**	**△ 64**

「資金繰安定化融資」により既存借入金の一本化に運転資金をプラスしてお客さまの資金繰りの安定を図ります。

※資金繰安定化融資

取引先の経営改善・生産性向上・体質強化を目的に、既存の当庫ご融資の一本化又は、他行肩代わりも含め、資金繰りの安定化を行うための融資。



事業性
評価

本件に関するお問い合わせ先
経営企画室　電話　03-5610-1115

東京東信用金庫